

外国語指導助手 ジョアンヌ・ マッカーシーさん来町

奥出雲町の特別な派遣要請により、全国自治体国際交流協会の格別な配慮で、今年度から小学校でも英語指導を行うことになり、その外国語指導助手（ALT）としてジョアンヌ・マッカーシーさんが着任されました。

マッカーシーさんはニューヨーク出身で、着任式では「奥出雲町のいろいろな方とお付き合いし、英語の指導はもろろん、日本のことも勉強したいと思います。よろしくお願いします」と挨拶がありました。



着任の挨拶をする
マッカーシーさん

今後一年間、中学校のALTのエイリイさんと協力して、町内の学校で英語教育の充実、国際交流の推進等に努めて頂きます。

よろしくお祈いします 町内に尾原ダム関連宿舎が完成

現在、町内各所では尾原ダム関連の事業が着々と進められており、7月にはダム本体工事の起式も行われ、工事が本格化しています。

町では、町の活性化を図るため、朝日町に工事関係者の宿舎用地を先行取得し宿舎建設を要請した結果、9月3日、この工事に携わる方の宿舎が、朝日町と林原地内にそれぞれ完成しました。

朝日町宿舎には110人、林原宿舎には20人が宿泊され、ダム完成時まで奥出雲町で生活されます。

町外から多くの方を迎え入れ、今後一更、交流人口の増加、地域の活性化が図られます。

町民の皆さんとは、町内の様々な場所で接する機会があると思いますので、よろしくお祈いします。

（尾原ダム関連のお問い合わせは、48-9400までお願いします）



朝日町宿舎



林原宿舎

晴天のもと

鳥上、馬木地区で地区民体育大会

晴天に恵まれた九月三日、鳥上、馬木の両地区では、地区民体育大会が開催されました。

保育所、幼稚園の園児からお年寄りまで多くの方が会場に集まり、チームのために各競技に汗を流しました。

また競技ごとに趣向を凝らした応援もあり、各チームの選手を励ました。

会場となった小学校のグラウンドでは、一日中賑やかな声が響いていました。



呼吸を合わせてジャンプ
（鳥上地区）



園児による集団演技
（馬木地区）

平成18年度 コミュニティ助成事業で阿井盆踊り伝承研究会に盆踊りの備品整備を行いました

阿井地区において、地元負担金と(財)自治総合センターからのコミュニティ助成金により、盆踊り用の太鼓、半纏、浴衣を整備しました。

この助成金は、宝くじの収入を財源としており、地域コミュニティの健全な発展を図るため、町を通じて助成したものです。

今回の整備により、平成11年から途絶えていた盆踊りを復活させ、普及・定着することで若者と高齢者との世代間交流はもとより、都市部の人との地域間交流等のコミュニティ活動が活発になることが期待されます。



コミュニティ助成事業には、次の事業があり、申請内容を県や(財)自治総合センターが審査して事業決定されます。

- (1) 一般コミュニティ助成事業
- (2) 緑化推進コミュニティ助成事業
- (3) 自主防災組織育成助成事業
- (4) コミュニティセンター助成事業
- (5) 青少年健全育成助成事業

内容等の問合せは、奥出雲町役場 政策企画課まで
（電話 0854-54-2523 情報 31-5252）



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
設定されています。

優良牛の育成を 奥出雲町肉用種牛共進会

平成十八年度の奥出雲町肉用種牛共進会が九月八日、八川の横田畜産センターにおいて開催されました。

当日は、町内八地区から選抜された十二カ月から二十四

カ月齢までの二十七頭が出品され、専門の審査員により個体審査と比較審査が行われました。

結果は次の通りです。

【特選賞】

六席「かねしげ」号
亀高支部 朝槻 浩和
上位入賞した六頭は、十月二十二日に鳥根中央家畜市場で開催される鳥根県種畜共進会に奥出雲町の代表として出品されます。

今回の共進会では、来年鳥取県で開催される第九回全国和牛能力共進会の第五区「繁殖雌牛群区」に本町が鳥根県代表として決定していることから、この候補牛のお披露目がありました。

また今後、第六区「高等登録群」（親牛、子牛、孫牛の三代にわたる改良の進み具合を競う区）の選考会が行われることから、その候補牛も併せて披露されました。

町では、この区でも出場権を獲得するため、関係団体等と連携し準備を進めていきます。



全共候補牛の披露の様子（五区）

- 首席 「はな」号
鳥上支部
高橋 幸雄
次席 「やと」号
横田支部
吉川 重義
参席 「はつら」号
布勢支部
塚原貴美子
四席 「ふくさつき」号
鳥上支部
佐伯 一美
五席 「ふじとみ」号
奥出雲町農業公社